

令和4年度 第5次総合計画施策評価シート【年度末用】

担当部署	政策調整課		
------	-------	--	--

基本目標	5 みんなで“創る～ともに支える自立した行政経営～
施策	22 協働のまちづくり

事業の内容		具体的な事業結果	事業の実効性※1	事業の達成度※2
1	協働のまちづくり活動の推進	住民活動コーディネーター派遣事業は1件の申込みがあった。また、令和5年2月に岩倉市にて視察研修を行い、取組事例等についてご教示いただいた。住民活動1日体験入門はコロナウイルスの影響により実施していない。まちづくり入門講座を令和4年7月に全3回開催し、ZOOM等を活用した事業の進め方について学んだ。	A	B
2	まちづくりネットワークの推進	令和4年7月に瀬戸市へ訪問し、行政と団体との連携や登録団体との関わり方、事業の進め方についてご教示いただいた。また、2市3町広域行政研究会を令和4年11月に実施し、他市町の担当者と情報交換や今後の展望について情報交換を行った。	B	B
3				
4				
5				
6				

めざそう値・指標名	指標の定義	基準値(H28)	実績値				
		目標値(R04)	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度
1 町民の意見の反映状況	町民意識調査で、「町民の意見がまちづくりに反映されているかどうか」の設問において、「よく反映されている」「まあまあ反映されている」と回答した割合（％）	14				18	
		20				×	
2 住民活動団体登録数	「扶桑町住民活動支援センター」への登録団体数（団体）	37	49	52	58	63	70
		52	×	○	○	○	○
3		次回の中間見直し時(H34)にアンケート調査を実施の際、実績値を記入					
4							

評価を踏まえた来年度以降の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>センターとの連携ができておらず、事業が進展していない状況が見受けられる。</li> <li>若者の住民活動への参加が少ない。</li> <li>コロナウイルス5類移行に伴う事業展開の見極め。</li> </ul>

評価を踏まえた来年度以降の改善策
<ul style="list-style-type: none"> <li>センターとの情報共有を密にし、センターや団体の要望・住民ニーズ（特に若者）・町の方針をすり合わせる。</li> <li>コロナウイルス感染対策として実施できていなかった事業について、ニーズに合った事業を選定し、積極的に住民活動の推進を進める。</li> </ul>

※1 事業の実効性 A・・・適切(100%) B・・・おおむね適切(60%) C・・・やや不適切(30%) D・・・要改善(0%)

※2 事業の達成度 A・・・達成(100%) B・・・おおむね達成(60%) C・・・一部達成(30%) D・・・未達成(10%)